

新エネルギー発電設備事故対応・構造強度 ワーキンググループ（第 26 回）－議事要旨

日時：令和 3 年 3 月 3 日（水） 15：00～17：00

場所：S k y p e 開催

出席者：

<委員>

前田座長、青木委員、石原委員、植田委員、奥田委員、貝塚委員、西尾委員、弘津委員、山本委員（五十音順）

<オブザーバー>

伊賀川 一般社団法人住宅生産団体連合会 調査部長
久保 一般社団法人日本小形風力発電協会 理事長
柴田 一般社団法人日本風力発電協会 技術部長
鈴木 一般社団法人太陽光発電協会 事務局長

議題：

- (1) 的山大島風力発電所のブレード折損事故に関する報告について
- (2) ユーラス西目ウインドファームの風車火災事故に関する報告について
- (3) 東伯風力発電所事故のその後の状況について（ご報告）
 - ・ ガイドラインの発行状況について
 - ・ 立入検査等の実施状況について

議事概要：

- (1) 的山大島（あづちおおしま）風力発電所のブレード折損事故に関する報告について
○株式会社的山大島風力発電所より、資料 1 に基づき前回(1 1 月 4 日)の指摘事項に対する回答、前回報告時からの原因究明の進捗、再発防止対策について報告が行われた。
委員から、クラッチ板の固着・動性鈍化が原因であると結論づけるには根拠不十分であること、51.9 m/s の風速が 10 分間続いたことが確認できていないこと、事故時に何メートルの風が吹いたか調査されていないこと等の指摘があった。
活発な議論が行われ、所要時間が超過したことから、追加の質問については事務局に送付することとなり、次回 WG で追加の質問に対しての回答及び引き続きの審議を行うこととなった。

(2) ユーラス西目ウインドファームの風車火災事故に関する報告について

○株式会社ユーラステクニカルサービスより、資料2に基づき事故当日の運転状況、保守履歴、被害状況、今後の検討内容等について報告が行われた。

委員からは、制御盤の落雷履歴を確認し、半導体関係の破損に伴う火災でないかを調査すること、通信トラブル発生後から覚知するまでの体制について対策を考察する必要性があること等が指摘され、次回WGで引き続き審議を行うこととなった。

(3) 東伯風力発電所事故のその後の状況について（ご報告）

○一般社団法人日本風力発電協会（以下「JWPA」という。）より資料3に基づき風力発電設備ブレード点検及び補修ガイドライン（以下「ガイドライン」という。）について、今後の水平展開及び運用開始予定等、制定に係る作成状況の報告がされた。

続いて事務局より、資料4に基づき東伯風力発電所事故に関する対応について、立入検査の実施状況及びJWPAが作成したガイドラインと法令等への位置づけ状況について報告を行った。

今回、活発な議論が行われたことに伴い、所要時間が足りなくなったため、追加の質問があれば、事務局に送付していただくこと及び次回ワーキンググループは改めて調整させていただきます旨を連絡し、閉会。

問い合わせ先：

経済産業省産業保安グループ電力安全課

電話　：03-3501-1742

FAX　　：03-3580-8486